

| | |
|-----------------|--|
| 24 陳情 第 21 号 | 新宿区議会の本会議、予算特別委員会・決算特別委員会、その他の委員会の傍聴者を増やす努力をしてもらいたいという陳情 |
| 付託委員会 | 議会・行財政改革特別委員会 |
| 受理及び付託 年 月 日 | 平成24年8月14日受理、平成24年9月20日付託 |
| 陳情者 | 新宿区住吉町————— 代表 ————— ほか1名 |

(要 旨)

議長、副議長を筆頭に各議員の方々、議会事務局の方々は当然分かっていると思います。傍聴者が殆ど居ないのです。こういう状況を改善しようとしているとは思えません。

議長、副議長を筆頭に各議員の方々、議会事務局の方々に傍聴者を増やす努力をしてもらいたいという陳情であります。

(理 由)

傍聴者が殆ど居ないということは、新宿区議会への住民の皆様の感心が無いに等しいということではないでしょうか。

団塊世代が殆ど現役を引退して2年が経ちます。私は、団塊世代のど真ん中です。そのような団塊世代も傍聴に来ていないということになりますね。団塊世代が引退することに対する色々な期待が以前、区議会の本会議等で区長・理事者側、議員側からも出ていました。傍聴者数に関しては、期待外れということになります。

世界的に言うと「ベビー・ブーマー世代」に過度の期待は禁物です。私や○議員のように自分勝手な人間が多いのです。20代、30代、40代、50代は仕事が中心になりますから、現在でも投票率の高い60代、70代の傍聴者を増やすしかないでしょう。そうすれば、平成14年、18年、22年の区長選挙の惨憺たる超低投票率の底上げにもつながるのではないのでしょうか。

区長選挙の超低投票率に中山弘子区長の不信任案を出すこともなく、淡々と議事を進めてきた、過去の区議、現在の区議には怒りを感じます。

新宿区議会へ住民の皆様の感心を向かせる策を考え実行に移してください。